

令和2年度 予算の概要

交 通 局

目 次

○令和2年度予算編成方針	1
I 令和2年度予算（案）の概要（自動車事業会計）	
1. 予定業務量	3
2. 収支計画	4
3. 参考資料	5
(1) 1日あたり乗客数の推移	
(2) 年度末企業債残高の推移	
(3) 軽油単価の推移	
(4) 一般会計からの繰入金の状況	
(5) 予定貸借対照表	
II 令和2年度予算（案）の概要（高速鉄道事業会計）	
1. 予定業務量	7
2. 収支計画（全線）	8
3. 参考資料	9
(1) 収支計画（線別）	
(2) 1日あたり乗客数の推移	
(3) 年度末企業債残高の推移	
(4) 一般会計からの繰入金の状況	
(5) 減価償却費の推移	
(6) 予定貸借対照表	
III 主要事業	12
(参考資料)	
乗客数の推移	24

令和2年度予算編成方針

交通局では、少子超高齢化の進展、人口減少傾向の継続、施設の老朽化、大規模災害への対応など、公共交通を取り巻く環境が急激に変化する中でも、みなさまに必要とされる公共交通であり続けるために、「市民の足」としての役割を積極的に果たし、神戸のひとの暮らしとまちの発展を支えていく。

令和2年度は、「神戸市営交通事業 経営計画 2020(計画期間:平成 28 年度～令和2年度)」の最終年であり、施策の実現に全力で取り組み、また徹底した経営改善を推し進め、安全で信頼できるサービスの提供とこれを支えるしっかりとした経営基盤の確立に取り組む。

財政状況について、自動車事業会計においては、乗客数の減少傾向等を考慮し、約1億3千万円の赤字を見込んでいる。このままでは近い将来、経営健全化団体に陥ってしまう状況であることから、さらなる経営改善に取り組んでいく。

高速鉄道事業会計においては、西神・山手線の新型車両の導入による資本費負担の増加等により、約5億1千万円の赤字を見込んでいる。依然として多額の債務・累積欠損金を抱えていることや、今後、駅舎やホームドア等の大規模な投資を控えていることから、引き続き経営改善に取り組んでいく。

令和2年度は、阪急グループが保有する北神急行線に関する資産等を交通局が譲り受けて、令和2年6月1日から、北神急行線の市営化を行う。既存インフラを有効に活用し、北神急行線の運賃を低減することで交通利便性を高め、沿線の魅力向上に繋げる。くわえて、名谷駅周辺地域の玄関口としての魅力向上、駅利用者の利便性・快適性の向上を目指し、名谷駅のリニューアルに向けた設計に着手する。

また、平成 31 年4月 21 日に発生した市バス重大事故を受けて、研修の充実、健康管理体制の強化、4月 21 日を忘れない取り組みの実施、バス車両への衝突警報装置の設置等の安全性向上及び再発防止策を講じていくことで、失われた神戸市バスへの信頼を回復する努力を全力で行っていく。

その他にも、人口減少・高齢化社会に対応した持続可能な交通体系の実現として、市バス IC カード2タッチ化や乗車ポイントシステムの構築、市バス配置基準の検討等を行い、さらなるサービスの充実と経営改善に向けた取り組みを行う。

I 令和2年度予算（案）の概要（自動車事業会計）

1. 予定業務量

区 分		元年度予算 (1)	2年度予算 (2)	増△減 (2) - (1)	伸び率 (%)	備 考
営業キロ程 (km)		374.8	375.2	0.4	0.1	
在籍車両数 (両)		514	514	0	0.0	
運転車両数 (両)		161,567	161,169	△398	△0.2	
運転走行キロ (千km)		17,285	17,294	9	0.1	
乗車人員 (千人)		67,302	65,304	△1,998	△3.0	敬老・福祉乗車人員等を含む
乗車料収入 (千円)		10,473,371	10,489,804	16,433	0.2	敬老・福祉乗車負担金等を含む
営業日数 (日)		366	365	△1	△0.3	
一 日 平 均	運転車両数 (両)	441	442	1	0.2	
	運転走行キロ (km)	47,227	47,380	153	0.3	
	乗車人員 (人)	183,885	178,916	△4,969	△2.7	
	乗車料収入 (千円)	28,616	28,739	123	0.4	

2. 収支計画

(単位:千円、税込)

区 分		元年度予算	2年度予算	予算比較 (伸び率 %)	内訳	(比較増△減)
収 入 的 支 出	営 業 収 益	10,795,722	10,801,455	5,733 (0.1)		
	うち乗車料収入	10,473,371	10,489,804	16,433 (0.2)		
	定期・定期外	7,747,906	7,602,472	△ 145,434 (△ 1.9)	定期外 定期	4,529,177 (△ 107,169) 3,073,295 (△ 38,265)
	敬老バス 利用者負担	892,577	1,137,990	245,413 (27.5)	IC利用者負担 定期利用者負担	975,383 (214,051) 162,607 (31,362)
	他会計負担金	1,832,888	1,749,342	△ 83,546 (△ 4.6)	敬老バス負担金 福祉バス等負担金	1,286,630 (△ 25,122) 462,712 (△ 58,424)
	営 業 外 収 益	654,481	774,754	120,273 (18.4)	営業収益その他	311,651 (△ 10,700)
	うち一般会計補助金	588,257	709,840	121,583 (20.7)	基準内 基準外	176,979 (5,044) 532,861 (116,539)
	うち長期前受金戻入	14,284	13,021	△ 1,263 (△ 8.8)	長期前受金戻入	13,021 (△ 1,263)
	特 別 利 益	-	149,756	149,756	営業外収益その他 営業外収益他会計繰入金 固定資産売却益	30,893 (953) 21,000 (△ 1,000) ()
	計	11,450,203	11,725,965	275,762 (2.4)		
	営 業 費 用	11,422,891	11,418,049	△ 4,842 (△ 0.0)		
	人 件 費	3,925,454	3,783,254	△ 142,200 (△ 3.6)	給与(退職金以外) 退職給付引当金繰入	3,607,327 (△ 28,886) 175,927 (△ 113,314)
	経 費	7,359,994	7,402,582	42,588 (0.6)	燃料費 修繕費 営業所管理委託	840,685 (△ 51,451) 679,068 (25,067) 4,728,383 (84,976)
	減 価 償 却 費	137,443	232,213	94,770 (69.0)	嘱託人件費 保険料 その他	73,399 (△ 18,400) 146,841 (34,043) 934,206 (△ 31,647)
	営 業 外 費 用	292,053	206,290	△ 85,763 (△ 29.4)	支払利息及び諸費 消費税	70,171 (6,237) 136,119 (△ 92,000)
特 別 損 失	-	-	-			
予 備 費	50,000	50,000	-			
計	11,764,944	11,674,339	△ 90,605 (△ 0.8)			
営 業 損 益 (税 抜)	△ 766,505	△ 806,236	△ 39,731 (△ 5.2)			
経 常 損 益 (税 抜)	△ 317,119	△ 231,606	85,513 (27.0)			
純 損 益 (税 抜)	△ 362,991	△ 127,305	235,686 (64.9)			
累 積 損 益 (税 抜)	731	△ 126,574	△ 127,305 (△ 17,415.2)			
資 本 的 収 支	収 入	1,532,323	2,410,636	878,313 (57.3)	企業債 補助金 他会計繰入、財産収入等	2,265,000 (1,345,000) 0 (△ 230) 145,636 (△ 466,457)
支 出	1,211,821	2,539,129	1,327,308 (109.5)	建設改良費 投資 企業債償還金	2,265,313 (1,344,752) 659 (109) 253,157 (△ 17,553)	
収 支 差 引	320,502	△ 128,493	△ 448,995 (△ 140.1)	予備費	20,000 (0)	
累 積 資 金 過 不 足 額	△ 1,761,412	△ 1,740,977	20,435 (1.2)			
資 金 不 足 比 率 (%)	△ 17.4	△ 17.4	0.0 (0.0)			

3. 参考資料

(1) 1日あたり乗客数の推移

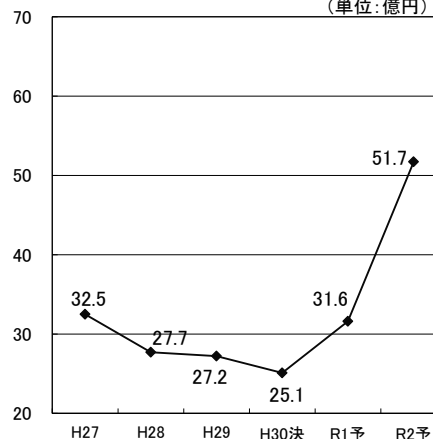
(単位：人)

	30年度決算	元年度予算	2年度予算
有料乗車	127,506	128,364	126,119
敬老パス	35,933	35,985	34,868
福祉パス等	19,791	19,535	17,929
合計	183,230	183,884	178,916

※有料乗車は、定期・定期外の乗車人数

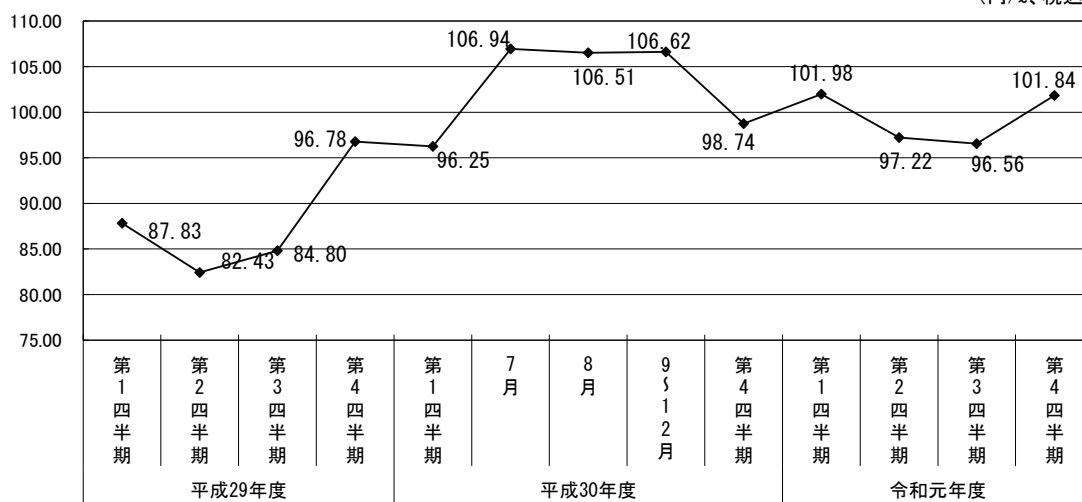
(2) 年度末企業債残高の推移

(単位：億円)



(3) 軽油価格の推移

(円/ℓ、税込)



平成30年度	第1四半期	7月	8月	9月～12月	第4四半期
	96.25	106.94	106.51	106.62	98.74
令和元年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
	101.98	97.22	96.56	101.84	

(4) 一般会計からの繰入金の状況

(単位：千円)

		充当項目	元年度予算	2年度予算
収益的収入	(基準内)	児童手当繰入金等	171,935	176,979
	(基準外)	経営改善促進補助金	416,322	532,861
	計			588,257
合計			588,257	709,840

(5) 令和2年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	17,995,117	固 定 負 債	8,114,904
運送施設有形固定資産	36,118,484	企 業 債	4,995,402
減 価 償 却 累 計 額	△ 18,219,086	引当金(退職給付引当金)	2,962,254
計	17,899,398	そ の 他 固 定 負 債	157,248
関連施設有形固定資産	191,177	流 動 負 債	4,748,265
減 価 償 却 累 計 額	△ 134,607	一 時 借 入 金	900,000
計	56,570	企 業 債	177,096
運送施設無形固定資産	11,508	未 払 金	2,450,943
関連施設無形固定資産	601	前 受 金	873,613
投 資	27,040	預 り 金	21,718
流 動 資 産	2,830,194	引当金(賞与等引当金)	246,596
現 金 預 金	1,372,112	そ の 他 流 動 負 債	78,299
未 収 金	1,452,707	繰 延 収 益	223,664
貯 蔵 品	5,375	長 期 前 受 金	2,564,406
		収 益 化 累 計 額	△ 2,340,742
		資 本 金	4,774,499
		剰 余 金	2,963,979
		資 本 剰 余 金	3,090,553
		欠 損 金	△ 126,574
		未 処 理 欠 損 金	△ 126,574
合 計	20,825,311	合 計	20,825,311

Ⅱ 令和2年度予算(案)の概要(高速鉄道事業会計)

1. 予定業務量

区 分	令和元年度予算 (1)	令和2年度予算 (2)	増△減 (2) - (1)	伸び率 (%)	備 考	
営業キロ程(km)	30.6	38.1	7.5	24.5		
在籍車両数(両)	214	238	24	11.2		
運転走行キロ(千km)	19,438	21,840	2,402	12.4		
乗車人員(千人)	115,476	118,601	3,125	2.7	敬老・福祉乗車 人員等を含む	
乗車料収入(千円)	20,525,724	21,780,660	1,254,936	6.1	敬老・福祉乗車 負担金等を含む	
営業日数(日)	366	365	△1	△0.3		
一 日 平 均	運転走行キロ(km)	53,108	59,836	6,728	12.7	
	乗車人員(人)	315,508	324,934	9,426	3.0	
	西神・山手・北神線	263,906	272,692	8,786	3.3	
	海 岸 線	51,602	52,242	640	1.2	
	乗車料収入(千円)	56,081	59,673	3,592	6.4	
	西神・山手・北神線	48,931	52,353	3,422	7.0	
	海 岸 線	7,150	7,320	170	2.4	

【北神急行線の市営化の影響】

営業キロ程：7.5km

在籍車両数：30両

運転走行キロ：2,443千km

乗車人員：3,842千人（1日あたり10,527人×365日）

※北神線単独の乗車人員は1日あたり31,600人（既存利用者24,300人+乗り移り等利用者7,300人（神戸電鉄：6,500人、バスやパークアンドライド等：800人）を見込んでいる。この中には、現在の西神・山手線の乗車人員にカウントされている分も含まれているため、その重複分を除いた乗車人員が10,527人となる。

乗車料収入：1,272,039千円

【収支の概要】

運賃を大幅に低減することにより、乗車料収入は北神急行電鉄時と比べて、減少が見込まれる一方、400億円の簿価の資産に対して、198億円で譲渡を受けることにより、資本費負担の軽減が図られることに加え、運賃低減の効果により、新たに神戸電鉄等からの乗り移りが期待できることから、（国の許認可の判断基準である）40年間での収支均衡を見込んでいる。

また、実質的に事業を継続していくために重要となる資金収支については、期間を通して黒字を予定している。

2. 収支計画（全線）

(単位:千円、税込)

区分		令和1年度予算	令和2年度予算	予算比較 (伸び率 %)	内 訳	(比較増△減)	
収益的収支	営業収益	22,996,391	24,275,701	1,279,310 (5.6)			
	運輸収入	19,017,780	20,268,029	1,250,249 (6.6)			
	定期・定期外	18,273,311	19,267,933	994,622 (5.4)	定期外 定期	10,042,669 (358,734) 9,225,264 (635,888)	
	敬老パス利用者負担	744,469	1,000,096	255,627 (34.3)	IC利用者負担 定期利用者負担	931,165 (241,144) 68,931 (14,483)	
	他会計負担金	1,507,944	1,512,631	4,687 (0.3)			
	敬老パス金 負担	933,381	1,037,811	104,430 (11.2)			
	福祉パス等 負担金	574,563	474,820	△ 99,743 (△17.4)	海岸線中学生以下無料化補填額	16,037 (2,192)	
	その他	2,470,667	2,495,041	24,374 (1.0)	広告料等運輸雑収入 付帯事業収入	1,543,384 (48,641) 951,657 (△ 24,267)	
	営業外収益	3,544,833	3,619,742	74,909 (2.1)			
	一般会計補助金	1,329,354	1,510,286	180,932 (13.6)	特例債元金補助金 企業債特別分利子補助金 その他	549,781 (△ 41,400) 437,466 (△ 52,787) 523,039 (275,119)	
	長期前受金戻入	2,175,229	2,071,185	△ 104,044 (△4.8)	西神・山手線 海岸線	510,988 (△ 22,290) 1,560,197 (△ 81,754)	
	その他	40,250	38,271	△ 1,979 (△4.9)	基金繰入金 受取利息 その他	21,000 (△ 1,000) 71 (24) 17,200 (△ 1,003)	
	計	26,541,224	27,895,443	1,354,219 (5.1)			
	支出	営業費用	22,020,634	24,118,472	2,097,838 (9.5)		
		人件費	6,502,507	6,649,528	147,021 (2.3)	給与(退職給付引当金以外) 退職給付引当金繰入	6,217,443 (69,845) 432,085 (77,176)
		経費	6,998,560	7,488,595	490,035 (7.0)	動力費 電気代 修繕費	842,525 (32,013) 654,472 (△ 67,751) 1,761,550 (23,122)
		減価償却費	8,519,567	9,980,349	1,460,782 (17.1)	固定資産除却損・費用 その他	685,517 (△ 154,792) 3,544,531 (657,443)
営業外費用		3,530,167	2,774,264	△ 755,903 (△21.4)			
支払利息及び諸費		2,908,410	2,731,493	△ 176,917 (△6.1)	企業債利子 企業債諸費	2,603,696 (△ 241,369) 127,797 (64,452)	
その他		621,757	42,771	△ 578,986 (△93.1)	消費税 他会計繰出金 その他	0 (△ 599,755) 21,000 (△ 1,000) 21,771 (21,769)	
予備費		50,000	50,000	-			
計 (ア)		25,600,801	26,942,736	1,341,935 (5.2)			
営業損益 (税抜)		△273,422	△1,280,028	△ 1,006,606 (368.2)			
経常損益 (税抜)	308,125	△464,205	△ 772,330 (△250.7)				
純損益 (税抜)	262,253	△ 509,660	△ 771,913 (△294.3)				
累積損益 (税抜)	△ 74,450,639	△ 74,960,299	△ 509,660 (0.7)	企業債 特例債 資本費平準化債	27,571,000 (17,270,000) 492,000 (△ 74,000) 284,000 (△ 1,301,000)		
資本的収支	収入	18,900,147	41,787,776	22,887,629 (121.1)	出資金 補助金 その他	6,910,000 (4,306,000) 3,023,217 (58,046) 3,507,559 (2,628,583)	
	支出	25,246,971	49,993,882	24,746,911 (98.0)	建設改良費 企業債元金償還金 保証金返還金	34,943,116 (21,633,904) 11,318,230 (421,746) 1,662,197 (1,602,197)	
	収支差引	△ 6,346,824	△ 8,206,106	△ 1,859,282 (29.3)	投資 その他	1,906,749 (1,490,864) 163,590 (△ 401,800)	
	単年度資金余剰	1,962,214	2,542,594	580,380 (29.6)			
累積資金余剰額	6,615,963	9,158,557	2,542,594 (38.4)				

3. 参考資料

(1) 収支計画（線別）

(単位:百万円、税込)

区 分		西 神 ・ 山 手 ・ 北 神 線			海 岸 線			
		1年度予算	2年度予算	比 較	1年度予算	2年度予算	比 較	
收 入	営 業 収 益		(1,342)					
			20,133	21,363	1,230	2,863	2,913	50
		う ち 乗 車 料 収 入		(1,272)				
			17,909	19,109	1,200	2,616	2,672	56
		定 期 ・ 定 期 外	15,998	16,940	942	2,275	2,328	53
	敬 老 パ ス 利 用 者 負 担	673	910	237	71	90	19	
	他 会 計 負 担 金	1,238	1,259	21	270	254	△ 16	
	営 業 外 収 益		(340)					
		1,073	1,248	175	2,472	2,371	△ 101	
	う ち 一 般 会 計 補 助 金	505	703	198	825	807	△ 18	
	う ち 長 期 前 受 金 戻 入	533	511	△ 22	1,642	1,560	△ 82	
	計	21,206	22,611	1,405	5,335	5,284	△ 51	
	支 出	営 業 費 用		(1,808)				
				15,131	17,522	2,391	6,889	6,597
人 件 費			5,261	5,390	129	1,242	1,260	18
経 費			5,158	5,736	578	1,840	1,753	△ 87
減 価 償 却 費		4,712	6,396	1,684	3,807	3,584	△ 223	
営 業 外 費 用			(52)					
		1,368	1,086	△ 282	2,163	1,688	△ 475	
う ち 支 払 利 息 及 び 諸 費		967	1,043	76	1,942	1,688	△ 254	
予 備 費		30	30	-	20	20	-	
計		16,529	18,638	2,109	9,072	8,305	△ 767	
営 業 損 益 (税 抜)		3,818	2,492	△ 1,326	△ 4,091	△ 3,772	319	
経 常 損 益 (税 抜)		3,874	2,629	△ 1,245	△ 3,566	△ 3,094	472	
純 損 益 (税 抜)		3,847	2,602	△ 1,245	△ 3,585	△ 3,112	473	
累 積 損 益 (税 抜)		29,246	31,848	2,602	△ 103,697	△ 106,809	△ 3,112	
資 本 的 収 支	収 入		(22,879)					
			13,408	37,678	24,270	5,492	4,110	△ 1,382
		う ち 企 業 債	9,717	27,032	17,315	2,735	1,315	△ 1,420
		う ち 出 資 金	2,411	6,734	4,323	193	176	△ 17
	う ち 補 助 金	401	343	△ 58	2,564	2,619	55	
	支 出		(22,879)					
			15,967	40,439	24,472	9,280	9,555	275
		う ち 建 設 改 良 費	12,319	34,051	21,732	990	892	△ 98
		う ち 企 業 債 償 還 金	2,617	2,665	48	8,280	8,653	373
	収 支 差 引		△ 2,559	△ 2,761	△ 202	△ 3,788	△ 5,445	△ 1,657
累 積 資 金 過 余 剰 額		50,519	59,799	9,280	△ 43,903	△ 50,640	△ 6,737	

※ () は北神分再掲

(2) 1日あたり乗客数の推移

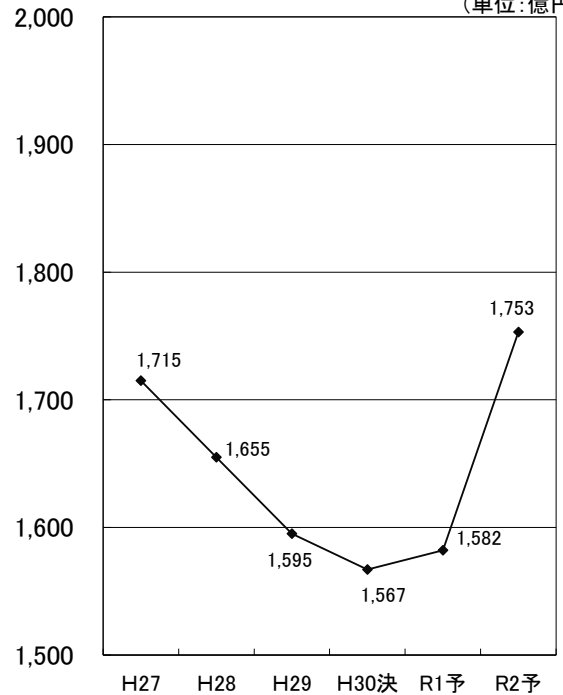
(単位:人/日)

	30年度決算	元年度予算	2年度予算	
有料乗車	西神・山手・北神線	231,312	232,529	243,156
	海岸線	43,965	45,442	46,800
敬老パス	20,475	19,713	18,404	
福祉パス等	西神・山手・北神線	14,511	14,471	13,705
	海岸線	3,354	3,353	2,869
西神・山手・北神線計	263,381	263,906	272,692	
海岸線計	50,236	51,602	52,242	
合計	313,617	315,508	324,934	

※有料乗車は、定期・定期外の乗車人数

(3) 年度末企業債残高の推移

(単位:億円)



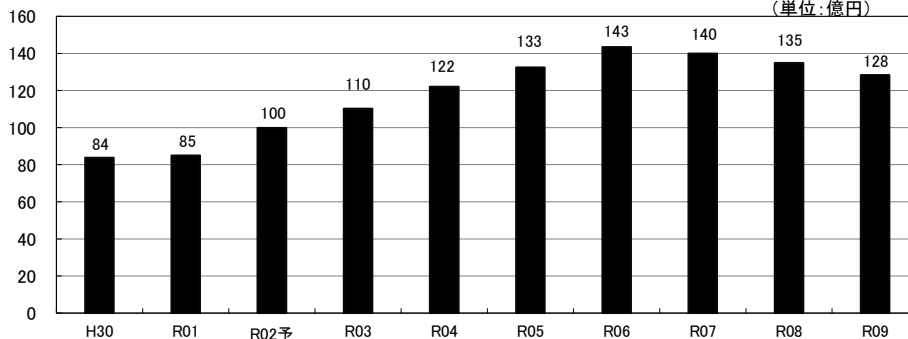
(4) 一般会計からの繰入金の状況

(単位:千円)

	充当項目	元年度予算	2年度予算
収益的収入	児童手当繰入金等	231,861	239,839
	企業債の利払い	1,097,493	1,000,447
	その他	0	270,000
	計	1,329,354	1,510,286
資本的収入	地下鉄設備等の建設改良に係る一般会計出資金	2,604,000	6,910,000
	企業債の元金償還等	2,775,171	2,900,443
	計	5,379,171	9,810,443
	合計	6,708,525	11,320,729

(5) 減価償却費の推移

(単位:億円)



(6) 令和2年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

借		方	貸		方
科	目	金 額	科	目	金 額
		千円			千円
固 定 資 産		263,496,187	固 定 負 債		169,836,088
運送施設有形固定資産		541,450,051	企 業 債		160,684,103
減価償却累計額		△ 286,536,920	引当金(退職給付引当金)		6,198,194
計		254,913,131	その他固定負債		2,953,791
付帯事業有形固定資産		14,552,265	流 動 負 債		23,473,056
減価償却累計額		△ 10,785,511	企 業 債		14,883,427
計		3,766,754	未 払 金		6,313,564
運送施設無形固定資産		716,603	前 受 金		1,605,058
投 資		4,099,699	預 り 金		199,475
流 動 資 産		17,748,186	引当金(賞与等引当金)		449,231
現 金 預 金		13,217,168	その他流動負債		22,301
未 収 金		4,352,069	繰 延 収 益		50,586,011
貯 蔵 品		178,633	長 期 前 受 金		128,928,568
その他流動資産		316	収益化累計額		△ 78,342,557
			資 本 金		97,344,900
			剰 余 金		△ 59,995,682
			資 本 剰 余 金		14,964,617
			欠 損 金		△ 74,960,299
			未 処 理 欠 損 金		△ 74,960,299
合 計		281,244,373	合 計		281,244,373

Ⅲ 主要事業

～新規拡充事業～

1. 地域における交通利便性の確保

24,752,398 千円

(1) 北神急行線の市営化

阪急電鉄グループが保有する北神急行線に関する資産等を交通局が譲り受けて、令和2年6月1日から、北神急行線の市営化を行う。既存インフラを有効に活用し、北神急行線の運賃を低減することで交通利便性を高め、沿線の魅力向上に繋げる。

谷上－三宮間の運賃案

	現行	市営化後
普通運賃	大人：550円 小児：280円	大人：280円 小児：140円
普通定期（大人）	22,300円	10,620円
通学定期（大学生）	13,470円	6,210円
通学定期（中高生）	13,240円	5,900円
通学定期（小児）	6,740円	3,110円

※定期運賃は1カ月定期の運賃

(2) 神戸北町地区と谷上駅を結ぶ市バス路線の新設等

北神急行線の市営化に合わせて、神戸北町地区と谷上駅を結ぶ新たな市バス路線を設ける。

あわせて市バス近郊区における市バス・地下鉄連絡定期割引を拡大（バス5%・地下鉄10%→バス10%・地下鉄10%）する。



2. 駅周辺のリノベーション

585,896 千円

駅は人々の生活や移動の基点であることから、駅前空間の中心となる駅のリニューアルや駅周辺用地の有効活用を進めていく。

・名谷駅

地域の玄関口としての魅力向上、駅利用者の利便性・快適性の向上を目指し、駅ビルのリニューアルに向けた設計に着手する。



・西神中央駅

西区役所新庁舎や図書館、芸術ホールの整備といった駅周辺のリノベーションとともに住宅供給を強力に進めるための取り組みとして、交通局においては西神中央駅付近の交通局所有地の売却のための準備を行う。

売却予定地：西神車庫用地

住所：西区美賀多台9丁目2番2

売却予定面積：約 8,000 m²

3. 市バス事故を受けた対策

43,974 千円

平成 31 年 4 月 21 日に発生した市バス重大事故は市バスに対する市民やお客様の信頼を瞬時に瓦解させた、多大な社会的影響を生じたものであることを改めて認識し、総力を挙げて再発防止策を推進するとともに、信頼回復とより高次の安全実現に向け、あらゆる対策を行う。

(1) 再発防止に向けた研修・取り組み

営業所毎の過去の事故事例から、事故の特徴や危険箇所を共有する事故分析研修を行うほか、運輸安全マネジメント推進及び運行管理体制の再構築について、外部の専門機関の知見を積極的に得ながら、安全性向上の取り組みを進めていく。

また、市バス重大事故を風化させず、常に安全意識の拠り所とするため、4月16日～5月15日を「市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間」に設定し、市バス運行に携わるすべての職員に安全運行に対する意識を徹底させる。

(2) 健康管理体制の強化

全職員を対象に保健師による健康指導を実施するほか、健康診断での所見を有する職員を対象に脳ドックを実施し、健康管理体制の強化を図る。

(3) バス搭載ドライブレコーダーの更新

平成20年度から導入したドライブレコーダーについて、老朽化したものを5か年で順次更新する。運転状況を分析できるよう、加減速や燃費等を可視化できる最新装備のものへの更新を行い、運転士に対し運転操法そのものをより具体的に指導できる体制を充実する。同時に、より多面的に運行状況を記録するため、車体右方と車内後方のカメラの新設を行う。

(4) 衝突警報装置（モービルアイ）の設置

衝突の危険（車間距離・追突の危険性・歩行者の横断・車線逸脱等）が迫ると、アラーム音と専用モニターへの表示により警報する装置を一部の市バス車両に設置し、運転士の安全運転を支援し、事故防止並びに安全性向上に資する。

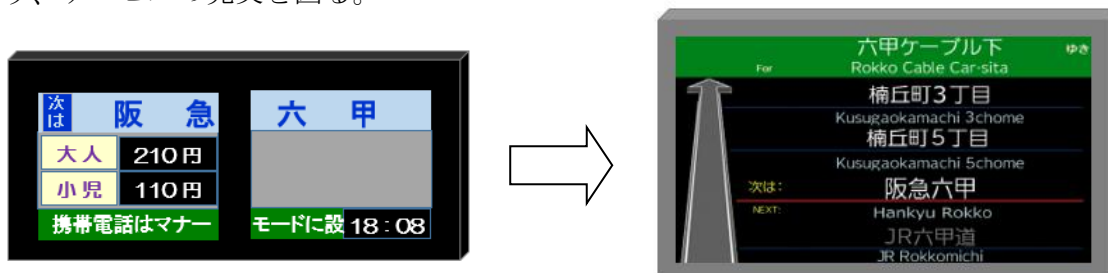
4. 人口減少・高齢化社会に対応した持続可能な交通体系の実現

(1) 市バスICカード2タッチ化と乗車ポイントシステムの構築 1,170,500千円

バス料金収受システムの更新にあわせて、令和2年度末から市バスの料金が均一の区間（市バス普通区）においても乗車時にICカードをかざす2タッチ方式に変更することで、停留所ごとの乗降客数を正確に把握し、取得したデータを活用して、さらなるサービスの充実を検討する。

また、磁気定期券・磁気カードについては今後廃止し、現在市バス専用カードやUラインカードをご利用いただいているお客様への代替サービスとして、乗車ポイントシステムを導入する。

さらに、バス車内の停名表示器を更新し、複数先までの停留所名の表示を可能にすることで、市バスのご利用頻度が少ないお客様にとっても、安心して目的地までスムーズにお使いいただけるよう、サービスの充実を図る。



現状

更新後 (イメージ)

(スケジュール)

- | | |
|---------------|----------------------|
| ・令和元年度末～令和2年度 | システム構築 |
| ・令和2年度中 | バス料金箱更新、乗車口IC読み取り機設置 |
| ・令和2年度末 | ICカードの2タッチ化を実施 |
| | 乗車ポイントシステム運用開始（バス） |
| ・令和3年度 | 取得データを活用した路線の見直しの検討 |

(2) 市バス配置基準の策定に向けた検討

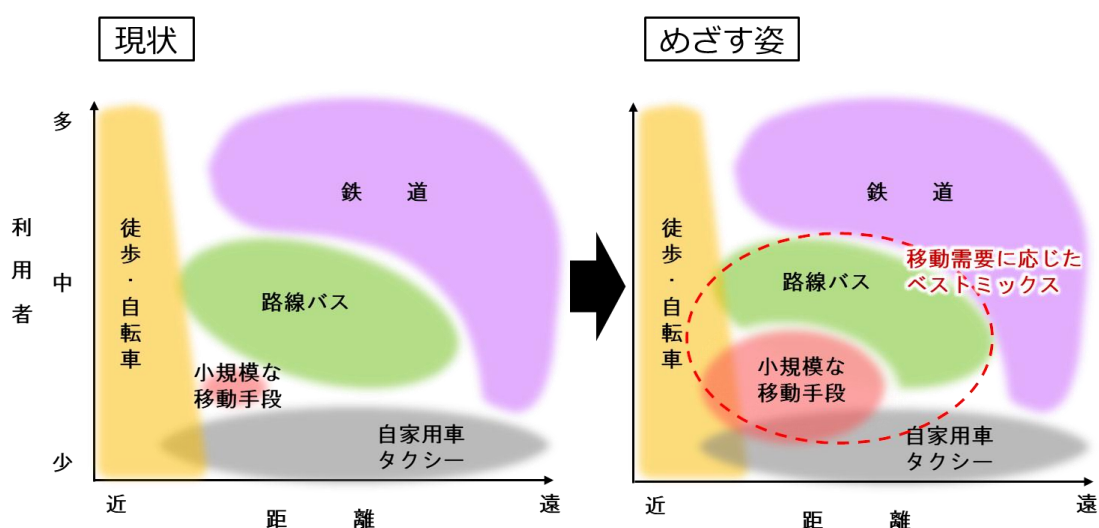
4,500千円

ICカード2タッチ化により取得可能になる日々の乗降客数等の科学的根拠に基づいて、適切に路線を設定していくため、輸送力の配分基準を定めた「市バス配置基準」の策定に向けた検討を行う。

この市バス配置基準をもとに、移動需要に応じたバスの増減便や、路線バスと小規模な移動手段とのベストミックスを図ることで、これまで以上にきめ細やかで持続可能な交通環境の形成を目指す。

(スケジュール)

- ・令和2年～3年度 有識者会議の設置および基準検討
- ・令和3年度上半期 市バス配置基準策定



①科学的根拠に基づく移動需要の把握

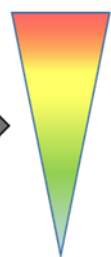
各種ビッグデータの収集・分析

- ・乗降者数データ
 - ・位置情報データ
 - ・ICカードデータ
- (2タッチ化)

などを活用して
まずは市バス路線を
対象に実施



②市バス配置基準策定



基準の運用

③移動需要に応じた移動手段の活用

大型バスの最適配置
(需要に応じた増減便対応)

基準 --- バスorバス以外 ---

小規模な移動手段の活用

- ・地域コミュニティ交通
- ・新たな移動サービス

5. 市バス運行情報の充実

27,110 千円

お客様が検索サイトから路線検索をされた場合にも市バスのリアルタイムの運行情報（遅延時間等）をスマートフォン等でご確認いただけるようにシステムを改修することで、利便性の向上を図る。

（スケジュール）

- ・令和2年度 システム改修
- ・令和3年度中 サービス運用開始

6. 海岸線の活性化

20,000 千円

令和3年度中に、神戸市総合児童センター（子ども家庭センター・こべっこランド）が地下鉄和田岬駅北部に移転を予定していることから和田岬駅のトイレ改修等を行う。また、ストリートピアノの設置を促進する。

また、令和3年度に海岸線開業から20周年を迎えるため、赤ちゃんの手形を使った記念製作といったイベントに向けたPR等を実施し、認知度の向上とイメージアップを狙う。



～その他事業～

経営計画の策定

次期経営計画の策定

8,855 千円

現行の経営計画である、「神戸市営交通事業 経営計画 2020」は令和2年度をもって計画期間が終了するため、次期経営計画の策定を行う。

次期経営計画は総務省より策定が求められている経営戦略の要素を併せ持つものとして検討していく。

1. 安全で信頼される公共交通

1-1. 安全性の強化

(1) 地下鉄のさらなる安全・安心運行の推進

4,942,356 千円

安全性の確保は、公共交通機関における輸送の生命であり、お客様に安全に安心してご利用いただけるよう平素から全力をあげて事故防止に努めている。そのため、基本的には車両は20年目に大規模な車体改修を行い、変電所は約35年目ごとに全面更新するなど、施設や車両機器を計画的に更新し、さらなる安全・安心運行に努めている。令和2年度は駅舎改修、分岐器更新工事、変電所・駅電気室更新工事、及び信号保安・通信設備（運行管理システムや連動装置など）の更新工事などを実施する。

(2) 西神・山手線ホームドアの設置

0 千円

(債務負担限度額 5,264,829 千円)

駅ホームからの転落や車両との接触事故を防止するため、接触事故の防止に有効なホームドアの設置を進める。令和2年度は、谷上駅を含む16駅のホームドア設置に向け、設計・施工・監理を実施する事業者を決定し、令和5年度中に西神・山手線全駅にホームドアを設置完了させる。



(3) 新型車両の導入

5,312,934 千円

(債務負担限度額 4,219,050 千円)

西神・山手線車両全編成の更新を行う。既に契約済みの 28 編成については令和4年度までに順次導入する予定で、令和2年度は6編成を導入する。また、北神線車両については、令和5年度を目途に全編成を更新する。

新型車両は既存車に比べ、ホームドアとの連動対応、火災対策の強化、機器の故障時に迅速な対応が可能となる高度な機器監視装置の設置、戸ばさみの際に抜けやすくなる減圧機能付きの乗降扉の設置など安全性が向上している。また、バリアフリー対応・快適性向上、省エネ性向上にも考慮した仕様となっている。



(4) 災害対策の強化

648,990 千円

建物の耐震改修などの施設整備を行うことで、南海トラフ地震などの大規模災害に備える。令和2年度は、伊川谷駅の耐震改修の詳細設計を実施するほか、名谷駅プラットホーム上屋についての耐震改修工事、各駅に設置している案内サインの補強を進める。

また、平成 29 年度から実施している市バス松原営業所・車庫の建て替えを進める。

1-2. 利便性の向上

(1) わかりやすい案内・サインの充実

46,381 千円

市バスをより多くの方にもっと便利にお使いいただけるよう、バス情報提供システム「えきバスびじょん。」(西神中央駅、名谷駅設置)、パソコンやスマートフォンから市内の公共交通機関の乗継検索ができる「KOBE 乗継検索」などのサービスを引き続き提供する。

また、バス停や地下鉄駅施設での4ヵ国語表記を進めるとともに、職員への語学研修も実施して、国外からのお客様にもわかりやすい案内ができるようハード、ソフト両面の取組みを進める。

(2) バスロケーションシステムの提供

15,774 千円

パソコンやスマートフォンで、バスが実際にどこを走っているのか確認ができる「バスロケーションシステム」のサービスを引き続き提供する。

1-3. 快適性の向上

(1) 利用者に配慮したバス停・バスターミナルの整備

56,352 千円

高齢化社会の進展に伴い、高齢者の方に安心してより快適に市バスを利用していただけるよう、バス停におけるベンチ・屋根の設置を積極的に進めていくとともに、屋根の設置できないバス停におけるバス待ちの環境を改善するため、バス停に置き傘の設置を継続して行う。

また、デザイン都市神戸の街並みにふさわしく、いつもきれいで安全なバス停・バスターミナルを目指し、老朽化したバス停・バスターミナル施設の補修に努める。

1-4. お客様のニーズに応じた取組み

(1) 需要に応じた路線・ダイヤの設定・見直し

バス路線に対する市民要望に応え、路線の新設、変更などを実施するとともに、増便や減便、始終発延長など、効率的なダイヤ編成を引き続き行う。

① 谷上駅へのアクセス路線の新設及び延伸等

令和 2 年 6 月より北神急行の市営化が実施されることにより、北神地区の交通結節点としての役割が期待される谷上駅への神戸北町地区からの新たな交通アクセス手段として路線新設及び延伸等を実施する。

系統	運行区間	内 容	備考
62 系統	<ul style="list-style-type: none"> ・【神戸北町発】 神戸北町～松が枝町 2 丁目～箕谷～下谷上～谷上駅 ・【蔵本発】 蔵本～松が枝町 2 丁目～箕谷～下谷上～谷上駅 	神戸北町地区と谷上駅をつなぐ路線を新設する。 路線は神戸北町を起点とする路線のほか、蔵本を起点とする路線を設ける。 ・ 神戸北町発：往路 4 便、復路 7 便 ・ 蔵本発：往路のみ 1 便	令和 2 年 6 月 1 日 実施予定
64 系統	神戸北町～箕谷駅前～新神戸駅前～三宮駅ターミナル前	昼間時間帯（13 時台～15 時台）に次のとおり、62 系統への振り替えを行う。 北町行き：3 本（13 時台～15 時台） 三宮行き：2 本（13 時台、14 時台） ※毎時 1 本ずつ	令和 2 年 6 月 1 日 実施予定
111 系統	谷上駅～箕谷駅前～谷寺口～山田小学校前～衝原	一部便を箕谷駅前から谷上駅まで延伸する。	令和 2 年 6 月 1 日 実施予定

② 路線廃止

系統	廃止区間	内 容	備考
45 系統	阪神御影南口～御影本町 7 丁目～魚崎西町 2 丁目～魚崎南町 5 丁目～魚崎車庫前	平成 27 年度の運行開始時から乗客が極端に少ないため、様々な利用促進策を行ってきた。しかし、利用が全く増えないため、路線廃止を行う。	令和 2 年 4 月 1 日 実施

③ 路線延伸及び変更等

系統	現行区間	内 容	備考
15 系統	名谷駅前～北須磨高校前 ～つつじが丘 2 丁目～桃山 台～青山台	一部便を交通空白地である菅の台 7 丁目に延伸する。(延伸本数は未定)	令和 2 年 度中実施 予定

(2) 停留所名称の変更

変更前	変更後	バス停が所在する路線名
公団住宅前	鴨子ヶ原 2 丁目東	19・39 系統
公団住宅前	多聞台 3 丁目	54 系統
東舞子公団住宅前	舞子台 4 丁目	51・59 系統
須磨区民センター前	須磨区文化センター前	10・75 系統

「公団住宅」は名称が「UR 住宅」に変更されてから長期間経過しているため、「公団住宅」の名称が付されているバス停はバス停が所在している地名に変更する。

また、令和 2 年 4 月 1 日より、神戸市立区民センターの名称が区文化センターに変更されることから、バス停名も施設名にあわせて変更する。

1-5. 質の高いサービスの提供

(1) 接客マナー・安全意識の向上とサービス改善・事故防止

4,492 千円

市バス・地下鉄の安全・安心な運行を目指すとともに、親切丁寧な接客姿勢や服務規律の徹底を通し、質の高いサービスの提供に努める。

市バスでは、「乗務員研修」や「添乗調査」などに加え、外部講師による接客研修を実施する等、研修制度を強化するとともに、実際の事故をドライブレコーダー等で検証し、事故防止を図る。また、グッドドライバー賞などの優秀な職員への表彰制度を活用し、モチベーションの向上に努める。

地下鉄では、定期教育訓練や外部講師による応対研修などを実施し、また業務上の危険や事故を未然に防いだ優秀な職員に対して運輸長表彰を行い職員の意識啓発に努める。

(2) お客様の意見を取り入れた業務改善

1,217 千円

市バスの「お客様の声ハガキ」や地下鉄の「メッセージBOX」や地域の集まりなど、あらゆる機会をとらえてお客様の意見を積極的に取り入れる。さらに、「お客様満足度調査」を実施し、サービスの向上と業務改善につなげる。

2. まちづくりや地域社会への貢献

2-1. 総合交通体系における取組み

(1)地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験の継続 21,176 千円

(交通局 5,106 千円、企画調整局 16,070 千円)

既設インフラの有効活用による地域活性化及び、沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、平成29年7月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験を、令和2年度も継続して実施し、その効果・影響等の検証を行う。

2-2. 人にやさしい公共交通

(1)地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進 683,090 千円

ひとにやさしい地下鉄を目指して、多様な利用者のニーズに対応するため、ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備を進めていく。令和2年度は、西神・山手線において、湊川公園駅のエレベーター増設工事に着手し、神戸電鉄との乗換利便性を高めるとともに、新神戸駅の改札内下りエスカレーター設置工事の完了、長田駅のエレベーター更新を行う。また、西神・山手線三宮駅では、バリアフリー経路を確保する東西連絡通路の整備を進め、令和2年度中に供用を開始する。

2-3. 環境にやさしい公共交通

(1)エコファミリー制度、エコショッピング制度の実施 104 千円

マイカー利用から公共交通利用への転換を促すため、土・日・祝日、夏休みなどに、大人が同伴する小学生以下の料金を2人まで無料にするエコファミリー制度を引き続き実施する。また、市バスまたは地下鉄を利用して提携した店舗や施設での催し等に出かけていただいたお客様に割引などのサービスを提供するエコショッピング制度を、引き続き実施する。

(2)省エネルギー対策の推進

照明のLED化 114,156 千円

鉄道の省電力化・低炭素化のため、駅・施設の照明設備をLED化する。令和2年度は、西神・山手線の学園都市駅等の照明設備のLED化、ハーバーランド駅から三宮・花時計前駅間のずい道照明設備のLED化を行う。

こうべバイオガスの継続利用 7,423 千円

下水の処理過程で発生する消化ガスを精製した「こうべバイオガス」を利用する市バスの営業運行を平成18年10月より実施している。令和2年度も引き続き、CNGバス(令和2年度予定:7両)で、環境にやさしい「こうべバイオガス」を燃料として営業運行を行う。

(3)市バス走行環境の改善

70,999 千円

市民の大切な足である市バスの定時運行・安全運行を確保するため、主要なバス停にガードマン・誘導員を配置する。また、市バスの走行環境を守るための啓発活動や関係機関への要請活動などに取り組む。

3. 「市民の足」であり続けるための経営基盤強化

3-1. 収益力の向上

(1)乗客増対策の推進

12,262 千円

乗客増対策として引き続き交通局自主イベントを行うほか、沿線地域・関係機関とタイアップした各種事業を積極的に展開していく。

さらに、交通局沿線情報サイト「神戸市交通局沿線 NAVI」やSNSを活用し、これらの取り組みを発信することで、より効果的な乗客増及び集客増を図る。

○沿線におけるイベントなどの誘致・実施

沿線地域の大規模集客施設や企業・店舗などと連携し、積極的なイベント開催及び誘致を展開する。

○トップスポーツチームとの連携事業の展開

沿線にホームグラウンドをもつトップスポーツチームとタイアップした企画を実施し、乗客増及び集客増に向けた取り組みを行う。

○海岸線の活性化

中央卸売市場跡地等を活用した住宅供給の加速などの全市施策に加え、賑わいの創出として、イオンモール神戸南でのイベント開催や広報協力等による乗客増及び集客増に向けた取り組みを行う。

○沿線大学の新生等を対象とした市バス・地下鉄のPR

沿線大学の新生へ市バス・地下鉄乗車を促すチラシを配布する。また、観光路線である市バス 25 系統沿線の活性化に向けた魅力発信等を行う。

(2)附帯事業の収入増対策

14,479 千円

地下鉄の収益力強化とお客様の利便性向上を目的に、広告事業や、駅構内の空きスペースを有効活用した駅ナカビジネスの推進に努めている。

令和2年度は、駅ナカスペースを有効活用するための一部改修を実施すると共に、広告料収入の拡大に向けて、三宮駅等のデジタルサイネージを活用するほか、サイネージ付パンフレットラックやフラッグ広告など、新規広告媒体を試験的に導入する。

3-2. 経営の効率化

市バス営業所の管理委託の継続・拡充

4,728,383 千円

自動車事業における経営改善策として営業所の管理委託を継続する。魚崎営業所、松原営業所、落合営業所、西神営業所については平成 29 年度から令和3年度まで、中央南営業所については平成 30 年度から令和4年度まで、提案競技により選定した受託事業者へ営業所の管理委託を行う。

委託営業所	受託事業者
魚崎営業所	神戸交通振興(株)
中央南営業所	神姫バス(株)
松原営業所	阪急バス(株)
落合営業所	神姫バス(株)
西神営業所	〃

また、中央南営業所に続き、民間事業者の営業所を活用した新たな営業所を開設し、市バス路線の一部を委託する。

(参考資料)
乗客数の推移

(単位：人、%)

	バス		地下鉄		
	1日あたり 乗客数	対前年度 増減率(%)	1日あたり 乗客数	対前年度 増減率(%)	
20	211,176	△6.2	西神・山手	267,787	0.2
			海岸	41,660	3.5
21	198,540	△6.0	西神・山手	261,606	△2.3
			海岸	42,652	2.4
22	194,608	△2.0	西神・山手	261,587	△0.0
			海岸	42,670	0.0
23	192,034	△1.3	西神・山手	259,293	△0.9
			海岸	42,396	△0.6
24	191,850	△0.1	西神・山手	260,740	0.6
			海岸	42,894	1.2
25	189,337	△1.3	西神・山手	260,737	△0.0
			海岸	43,016	0.3
26	189,286	△0.0	西神・山手	259,863	△0.3
			海岸	43,520	1.2
27	189,564	0.1	西神・山手	262,329	0.9
			海岸	44,456	2.2
28	187,255	△1.2	西神・山手	261,495	△0.3
			海岸	45,451	2.2
29	186,763	△0.4	西神・山手	263,576	0.8
			海岸	48,643	7.0
(決算) 30	183,230	△1.9	西神・山手	263,381	△0.1
			海岸	50,236	3.3
(予算) 1	183,884	0.4	西神・山手	263,906	0.2
			海岸	51,602	2.7
(予算) 2	178,916	△2.7	西神・山手・北神	272,692	3.3
			海岸	52,242	1.2

※地下鉄の令和2年度より北神線分含む

